

JAPAN FESTIVAL HOUSTON 2023

今年のフェスティバルは「民」というテーマにぴったりの参加型アクティビティが盛り沢山！ 相撲、太鼓、お神輿、クラフト、ゲーム、茶道などなど、子供も大人も日本の文化に触れながら楽しむ工夫がされていました。



Photos by night.sky.creative courtesy of Japanese Festival of Houston

Japan Festival Houston 2023

ショーイング・ジャパン (Showing Japan)

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となったJapan Festival Houston. 5月6、7日の2日間、Hermann Parkに私達Showing Japanも出店しました。ブースには葉にカタカナで名前を書いて差し上げるコーナー、和風小物や着物類、中古のマンガを販売するコーナーを設けました。フェスティバル事務局からの事前情報によれば、今回はこれまでで最も多い出店数とか。かなりの人出が予想され、我々も準備に気合が入ります。しかし気になるのはやはりお天気。予報によれば、雨。両日も最高気温が30℃を超えそうな気配で、心配が募ります。

初日・土曜日の朝、薄曇りの中、一般ボランティアや高校生ボランティアの方々が出店準備に大活躍。一般の方は豊富な経験とアイデアで手際よくブースをセッティング、高校生たちは商品ディスプレイにセンスが光っていました。この方々の協力がなければ、ブースをオープンできなかったかもしれません。ボランティアのお力がいかに重要であるかを改めて痛感しました。幸い雨にはならなかったものの、気温・湿度ともにグングン上がりました。正にヒューズトンらしい!! 暑さの中、みんな休む暇もなくお客様の対応にあたりました。

着物や帯の試着をお手伝いして差し上げると、それらをまとめてお買い上げ、そのままフェスティバルへ繰り出して行かれる方も少なからずいらっしゃいました。テーブルに並ぶ日本の品々を手にとってじっく

り吟味し、気に入った物が見つかった時の笑顔を見ると私達も嬉しくなります。着物類だけでなく、折り鶴をあしらった手作りのピアスや髪留め、和柄の布小物、日本の風景画や絵皿、日本人形などはとても人気があり、瞬間に売れてゆきました。その他の品物も時間の経過とともに少なくなり、「明日、売れる物が無くなってしまいそう…」と心配するほどでした。

葉の名前書きコーナーも好評です。各々葉の色や切手の柄を丹念に眺めてお気に入りの葉を選択、自分の名前の音が一つづつ文字になることに興味を示されていました。

2日目・日曜日は朝から怪しい雲行き。あいにくの天気の中、前日に子供用の浴衣を購入された方がお孫さんにそれを羽織らせ「着方を教えて」と再びお越しになりました。兵児帯も結んで着付けが済むと、お二人はにっこり微笑み手を繋いでブースを後にされました。見送る私達までもがほっこり温かな気持ちに。

しかし雨よ上がって!との祈りも空しく、天候は酷くなるばかりで、テント内まで雨・風が吹き込み、品物を陳列しておくことすら難しい状況になりました。仕方なくマンガ本の販売と葉の名前書きのみとしましたが、悪天候にもかかわらず沢山の方に足を運んでいただきましたことを心から感謝いたします。

Japan FestivalではShowing Japanの日頃の活動と違って、多くの皆様と接することができ、大変貴重な機会となりました。沢山の方が日本文化に関心を持ってくださっているということをもっと実感した2日間でした。また我々の活動に興味を持ってお問い合わせいただいた皆様の声に応えていけるよう、これからも日本文化の紹介に努めて参りたいと思います。

(木下留理子)

